

持続可能なエゴマ生産の確立プロジェクト

エゴマの生産については、栽培技術の向上や、労働力の確保、大規模圃場での対応、収益の拡大、除草対策などの課題があることから、次の2つの視点で調査・実証することで、総合的な生産技術を確立するとともにエゴマ栽培の普及を促進

エゴマ安定栽培実証調査・生産普及拡大事業

1. エゴマ栽培収量向上研究会の開催
 - ・エゴマ栽培の技術や管理の課題整理
 - ・課題を解決するための検証
2. エゴマ栽培実証調査(営農サポートセンターで実施) 比較調査
 - ・品種比較、播種日比較、施肥料比較等
3. 栽培技術検討普及事業
 - ・生産者を対象とした栽培研修会の開催
 - ・生産者を対象とした先進地視察の実施

スマート農業導入実証モデル事業

1. 実証
 - 大規模農地(塩)、中山間農地(大山上野)、ハウス(営農サポートセンター)の3ヶ所で実施
 - 導入機械: 自動運転トラクター、GPSガイダンスシステム、自走式草刈機、ドローン、風向・風速や土壌分析等センサーによるリモートセンシング
2. 富山市センサーネットワークを活用した生育データの見える化
3. 株間除草ロボットの開発・実証

その効果

- ・エゴマ栽培技術の確立による産地化
- ・収量増による収益の拡大
- ・栽培生産者の増による普及促進

その効果

- ・作業精度の向上による労力の省力化
- ・センサーネットワークを活用した生育情報の見える化
- ・担い手生産者の確保など

持続可能な栽培を確立、そして特産化へ

